

【同時発表先】

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

中国地方整備局管内の港湾における 2018 年のコンテナ取扱貨物量 (速報値)

～コンテナ取扱貨物量が過去最高値を更新～

中国地方整備局管内の港湾における 2018 年のコンテナ取扱貨物量は、88.4 万個（前年比+4.3%）と 2017 年の 84.8 万個を抜き、過去最高値を更新しました。内訳は、外貿 54.7 万個（前年比+0.2%）、内貿 33.8 万個（前年比+11.8%）となりました。特に三田尻中関港では、自動車部品の国際フィーダー取扱貨物量が大きな伸びを示しました。

【概要】

- 外貿コンテナ取扱貨物量は、54.7 万個（前年比+0.2%）と 2017 年の 54.6 万個を抜き、過去最高値を更新しました。
- 内貿コンテナ取扱貨物量は、33.8 万個（前年比+11.8%）と 2016 年の 30.8 万個を抜き、過去最高値を更新しました。また、国際フィーダー取扱貨物量^{※3}も 20.0 万個（前年比+19.5%）と 2016 年の 18.3 万個を抜き、過去最高値を更新しました。

【調査方法、集計内容】

- 港湾管理者より提供いただいた 2018 年（1～12 月）のコンテナ取扱貨物量（速報値）を中国地方整備局で集計しました。貨物量は速報値であり今後変更する可能性があります。単位は個（20 フィート換算）です。
- 内訳として、外貿コンテナ取扱貨物量、内貿コンテナ取扱貨物量および国際フィーダーコンテナ取扱貨物量を集計しました。内貿コンテナ取扱貨物量は、国内の 2 地点間を輸送されるコンテナ取扱貨物量です。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は、国際コンテナ戦略港湾などで外貿コンテナ船に積み替えられて輸出されるコンテナ取扱貨物量です。
- ※1 内貿コンテナ取扱貨物量には、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量を含む。
- ※2 長さ 20 フィートのコンテナ 1 本を 1 個としてカウント（長さ 40 フィートのコンテナ 1 本を 2 個としてカウント）。TEU (Twenty-foot Equivalent Units) とも言う。
- ※3 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は港湾管理者に可能な限り調査・提供いただいた。全量を把握できていないため参考値である。

<問い合わせ先> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL: 082-511-3928 (直通) (平日・昼間)
クルーズ振興・港湾物流企画室長 おざき やすし 尾崎 靖 課長補佐 つねかず こうじ 常数 浩二

<広報担当窓口> 中国地方整備局 港湾空港部 TEL: 082-511-3905 (直通) (平日・昼間)
計画企画官 にいみ けんご 新見 健吾

■ コンテナ取扱貨物量

- 中国地方整備局管内の港湾における平成30年のコンテナ取扱貨物量の速報値は88.4万TEU^{※1}であり、対前年同期比で4.3%増加しています。

(図-1、表-1参照)

※「外貿コンテナ取扱貨物量^{※2}」と「内貿コンテナ取扱貨物量^{※3}」の合計値を集計しています。(内貿コンテナ取扱量には国際フィーダーコンテナ取扱貨物量^{※4}も含む)

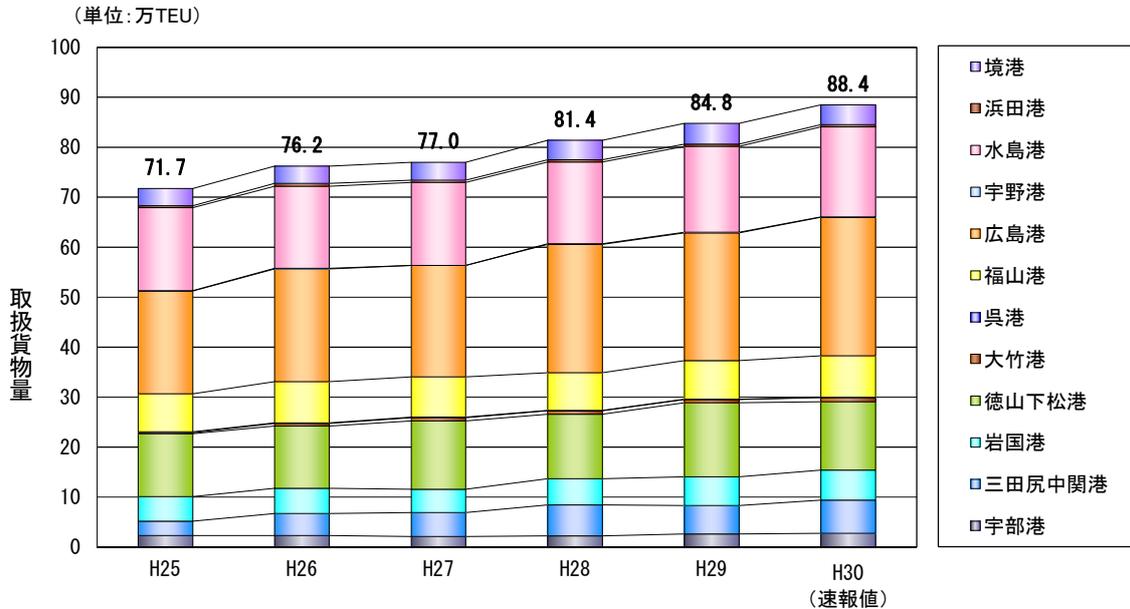


図-1 【コンテナ取扱貨物量の推移】

表-1 【コンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位:TEU)

港湾名	平成29年			平成30年 (速報値)			平成29年からの増減 (TEU)	平成29年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境港	41,619	20,992	20,627	39,204	19,478	19,726	▼2,415	▼5.8%	▼7.2%	▼4.4%
浜田港	4,216	2,105	2,111	4,518	2,237	2,281	302	7.2%	6.3%	8.1%
水島港	172,218	86,239	85,979	180,141	90,256	89,885	7,923	4.6%	4.7%	4.5%
宇野港	724	390	334	885	460	425	161	22.2%	17.9%	27.2%
広島港	255,868	127,296	128,572	276,891	135,863	141,028	21,023	8.2%	6.7%	9.7%
福山港	77,073	38,467	38,606	83,450	41,022	42,428	6,377	8.3%	6.6%	9.9%
呉港	839	409	430	860	448	412	21	2.5%	9.5%	▼4.2%
大竹港	6,635	5,062	1,573	7,463	5,982	1,481	828	12.5%	18.2%	▼5.8%
徳山下松港	147,776	77,558	70,218	136,733	70,297	66,436	▼11,043	▼7.5%	▼9.4%	▼5.4%
岩国港	58,014	29,103	28,911	60,669	29,899	30,770	2,655	4.6%	2.7%	6.4%
三田尻中関港	56,654	28,599	28,055	65,750	32,850	32,900	9,096	16.1%	14.9%	17.3%
宇部港	25,984	13,121	12,863	27,794	14,158	13,636	1,810	7.0%	7.9%	6.0%
合計	847,620	429,341	418,279	884,358	442,950	441,408	36,738	4.3%	3.2%	5.5%

■ 外貿コンテナ取扱貨物量^{※2}

・中国地方整備局管内の港湾における平成30年の外貿コンテナ取扱貨物量の速報値は54.7万TEUであり、対前年同期比で0.2%増加しています。〔輸出：1.6%減少、輸入：2.5%増加〕
(図-2、表-2参照)

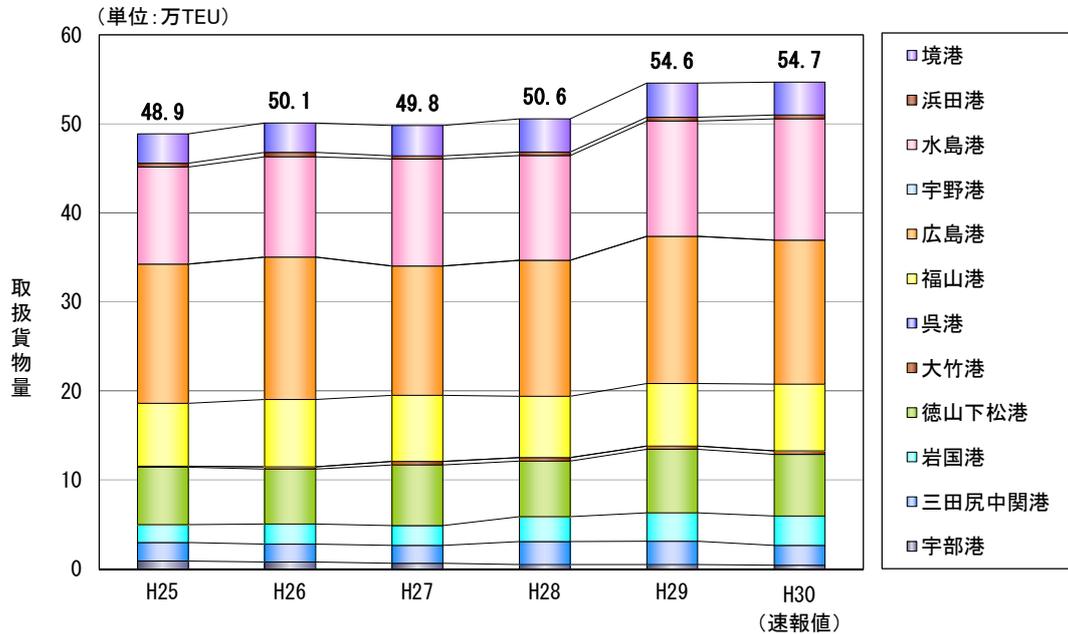


図-2 【外貿コンテナ取扱貨物量の推移】

表-2 【外貿コンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位:TEU)

港湾名	平成29年			平成30年 (速報値)			平成29年からの増減 (TEU)	平成29年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境港	38,503	20,972	17,531	36,901	19,478	17,423	▼1,602	▼4.2%	▼7.1%	▼0.6%
浜田港	4,151	2,085	2,066	4,366	2,237	2,129	215	5.2%	7.3%	3.0%
水島港	129,616	68,339	61,277	136,191	72,076	64,115	6,575	5.1%	5.5%	4.6%
宇野港	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
広島港	164,917	85,183	79,734	161,973	81,088	80,885	▼2,944	▼1.8%	▼4.8%	1.4%
福山港	70,516	33,285	37,231	74,734	34,657	40,077	4,218	6.0%	4.1%	7.6%
呉港	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—
大竹港	3,539	2,285	1,254	4,078	2,990	1,088	539	15.2%	30.9%	▼13.2%
徳山下松港	71,216	48,559	22,657	69,300	46,479	22,821	▼1,916	▼2.7%	▼4.3%	0.7%
岩国港	32,089	20,626	11,463	32,639	21,418	11,221	550	1.7%	3.8%	▼2.1%
三田尻中関港	26,164	14,910	11,254	22,351	11,259	11,092	▼3,813	▼14.6%	▼24.5%	▼1.4%
宇部港	4,915	2,431	2,484	4,306	2,135	2,171	▼609	▼12.4%	▼12.2%	▼12.6%
合計	545,626	298,675	246,951	546,839	293,817	253,022	1,213	0.2%	▼1.6%	2.5%

■ 内貿コンテナ取扱貨物量^{※3}

・中国地方整備局管内の港湾における平成29年の内貿コンテナ取扱貨物量の速報値は33.8万TEUであり、対前年同期比で11.8%増加しています。〔移出：14.1%増加、移入：10.0%増加〕

(図-3、表-3参照)

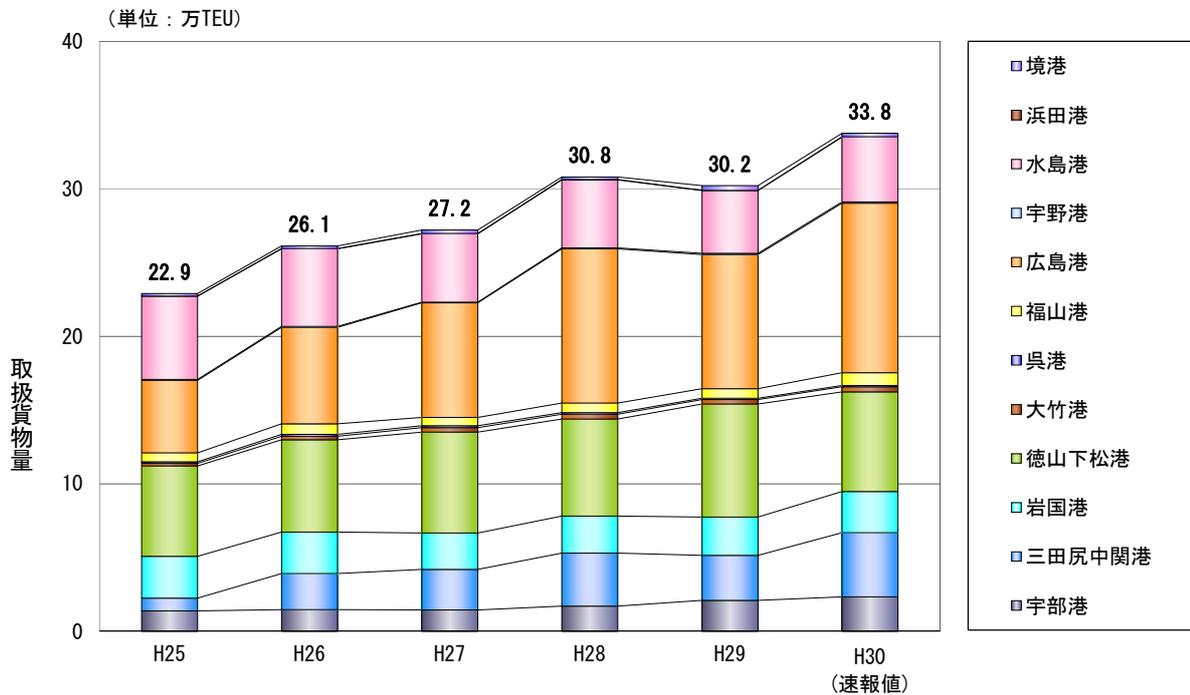


図-3 【内貿コンテナ取扱貨物量の推移】

表-3 【内貿コンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位：TEU)

港湾名	平成29年			平成30年 (速報値)			平成29年からの増減 (TEU)	平成29年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境港	3,116	20	3,096	2,303	0	2,303	▼813	▼26.1%	▼100.0%	▼25.6%
浜田港	65	20	45	152	0	152	87	133.8%	▼100.0%	237.8%
水島港	42,602	17,900	24,702	43,950	18,180	25,770	1,348	3.2%	1.6%	4.3%
宇野港	724	390	334	885	460	425	161	22.2%	17.9%	27.2%
広島港	90,951	42,113	48,838	114,918	54,775	60,143	23,967	26.4%	30.1%	23.1%
福山港	6,557	5,182	1,375	8,716	6,365	2,351	2,159	32.9%	22.8%	71.0%
呉港	839	409	430	860	448	412	21	2.5%	9.5%	▼4.2%
大竹港	3,096	2,777	319	3,385	2,992	393	289	9.3%	7.7%	23.2%
徳山下松港	76,560	28,999	47,561	67,433	23,818	43,615	▼9,127	▼11.9%	▼17.9%	▼8.3%
岩国港	25,925	8,477	17,448	28,030	8,481	19,549	2,105	8.1%	0.0%	12.0%
三田尻中関港	30,490	13,689	16,801	43,399	21,591	21,808	12,909	42.3%	57.7%	29.8%
宇部港	21,069	10,690	10,379	23,488	12,023	11,465	2,419	11.5%	12.5%	10.5%
合計	301,994	130,666	171,328	337,519	149,133	188,386	35,525	11.8%	14.1%	10.0%

コンテナ貨物に関する主なトピックス（平成30年1月から平成31年3月まで）

（各港湾管理者からのヒアリングを基に、中国地方整備局がとりまとめ）

【境港】

- ・老朽化した国際コンテナターミナルの舗装改良を平成30年度から5ヵ年計画で計画的に実施し、安全・安心な荷役機能の確保に取り組んでいます。
- ・その他、平成31年4月11日より新規に韓国（釜山）、中国（上海）を結ぶ定期コンテナ航路が開設されました。（5便→6便）

【浜田港】

- ・平成30年3月31日より、山陰道に直結する臨港道路が開通しました。
- ・平成31年1月9日よりガントリークレーン（51t吊）の供用を開始しました。
- ・平成31年1月15日より新規に韓国定期コンテナ航路が開設されました。（1便→2便）

【水島港】

- ・平成30年4月4日より新規に韓国定期コンテナ航路が開設されました。（11便→12便）
- ・平成31年1月2日より韓国定期コンテナ航路が減便となりました。（12便→11便）

【広島港】

- ・平成30年3月19日より、新規に韓国定期コンテナ航路が開設されました。（週9便→10便）
- ・新たなインセンティブ制度として、平成30年度から、広島港コンテナ物流トライアル事業を創設しました。

【福山港】

- ・新たなインセンティブ制度として、平成30年度から、福山港コンテナ物流トライアル事業を創設しました。

【徳山下松港】

- ・平成30年9月より、千葉航路が新設されました。（週3.75便→週4.75便）
- ・平成30年10月より、神戸・大阪航路が減便となりました。（週7便→週5便）

【三田尻中関港】

- ・平成30年4月に、2基目のガントリークレーンの供用を開始しました。
- ・平成30年5月より新規に韓国定期コンテナ航路が開設されました。（週1便→週2便）
- ・平成30年8月より、東南アジア航路が廃止されました。

【宇部港】

- ・平成31年1月より、韓国定期コンテナ航路が減便となりました。（2航路→1航路）

■ 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量^{※4}

・中国地方整備局管内の港湾における平成30年の、主に阪神港を利用した国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は20.0万TEUであり、対前年同期比で19.5%増加しています。(図-4、表-4参照)

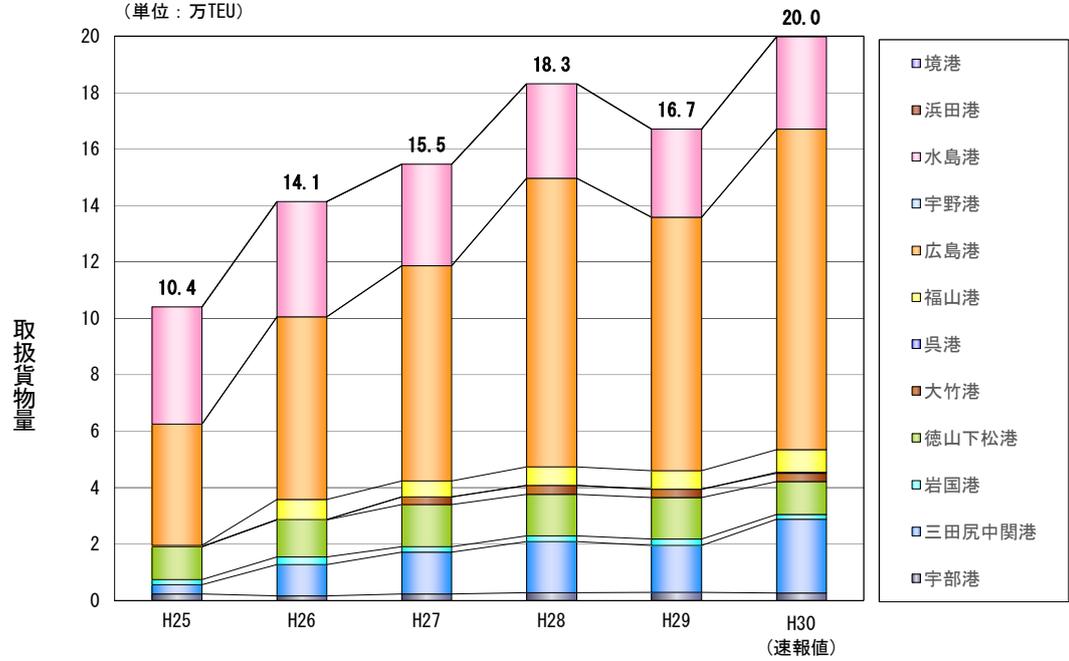


図-4 【国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の推移】

表-4 【国際フィーダーコンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

港湾名	平成29年			平成30年 (速報値)			平成29年からの増減 (TEU)	平成29年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境港	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
浜田港	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
水島港	31,311	13,753	17,558	32,645	13,422	19,223	1,334	4.3%	▼2.4%	9.5%
宇野港	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
広島港	89,783	41,878	47,905	113,647	54,695	58,952	23,864	26.6%	30.6%	23.1%
福山港	6,557	5,182	1,375	7,997	5,646	2,351	1,440	22.0%	9.0%	71.0%
呉港	0	0	0	420	8	412	420	皆増	皆増	皆増
大竹港	2,946	2,627	319	2,853	2,460	393	▼93	▼3.2%	▼6.4%	23.2%
徳山下松港	14,657	12,023	2,634	11,672	9,716	1,956	▼2,985	▼20.4%	▼19.2%	▼25.7%
岩国港	2,346	1,460	886	1,744	1,456	288	▼602	▼25.7%	▼0.3%	▼67.5%
三田尻中関港	16,538	12,457	4,081	26,092	20,992	5,100	9,554	57.8%	68.5%	25.0%
宇部港	2,940	2,681	259	2,671	2,405	266	▼269	▼9.1%	▼10.3%	2.7%
合計	167,078	92,061	75,017	199,741	110,800	88,941	32,663	19.5%	20.4%	18.6%

※1 TEU (Twenty-foot Equivalent Units) とは、20 フィート (コンテナの長さ) 換算のコンテナ取扱個数の単位です。国際輸送に用いられるコンテナには主に、20 フィートコンテナ、40 フィートコンテナがあり、40 フィートコンテナ1個は2TEUと計算します。20 フィートコンテナ (長さ約 6.06m×幅約 2.44m×高さ約 2.59m) 1個の内容積は約 33m³です。

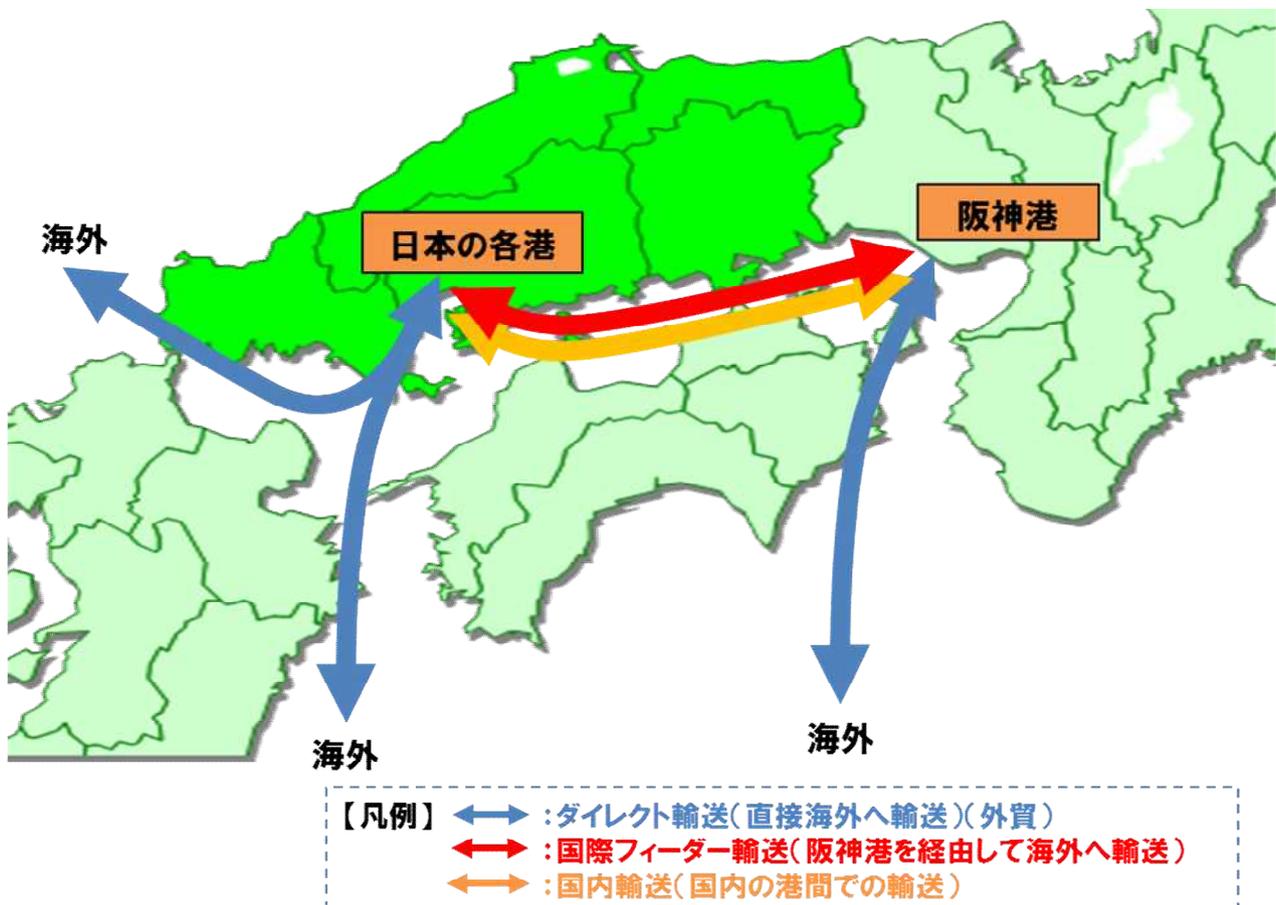


写真 港でのコンテナの取扱状況

※2 外貿コンテナ取扱貨物量とは、日本の港湾 (本報告中では中国地方整備局管内の港湾) と海外の港湾間で直接輸出入される (取り扱われる) コンテナ取扱貨物量を言います。(下図の「ダイレクト輸送」を参考)

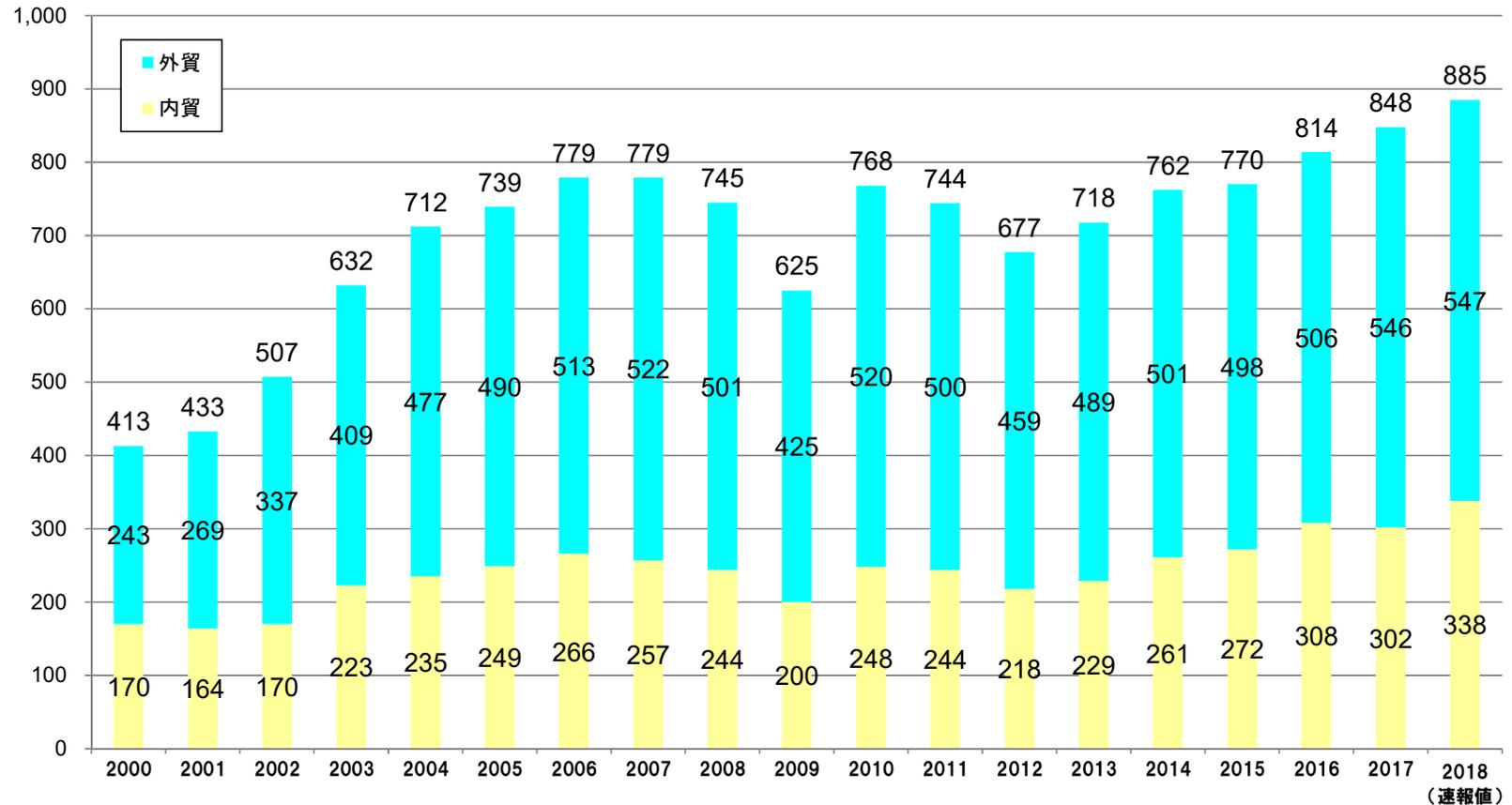
※3 内貿コンテナ取扱貨物量とは、国内の2地点間を輸送されるコンテナ取扱貨物量です。内貿コンテナ取扱貨物量には、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量も含まれます。(下図の「国内輸送を参考」)

※4 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量とは、コンテナ貨物を海外へ輸出する場合、中国地方整備局管内の港と国内主要港 (阪神港、京浜港等) 間を内航船で輸送した後、国内主要港で外貿コンテナ船に積み替えられて輸出されるコンテナ取扱貨物量を言います。コンテナ貨物を海外から輸入する場合はその逆の流れとなります。(下図の「国際フィーダー輸送」を参考)



(参考)中国地方整備局管内のコンテナ取扱貨物量推移

[千TEU]



出典: 2000~2016年: 港湾統計(年報)、2017~2018年: 中国地方整備局調べ